

10月22日 サンパークやなぎで100歳を祝う会

綾織町の菊池省一さん100歳

菊池省一さんの100歳を祝う会が同所で開かれました。本田市長が記念品と花束を手渡すと、省一さんは100歳とは思えないほど元気に、「ありがとうございます」と返事をしました。



親戚らに囲まれ笑顔を見せる省一さん(中央)

省一さんは農業に励みながら、消防団員として38年間活動。その功績が認められ、69歳の時に勲五等瑞宝章を受章しています。

10月12日 とおのの仕事発見☆企業説明会

地元企業が高校生にPR

市内の高校生に、地元就職について考えてもらうための企業説明会が開催されました。市内の27社が出展し、遠野高校と遠野緑峰高校の2年生180人に、事業概要や求める人材像についてプレゼンしました。市内の事業所で働く両校の卒業生も駆け付け、現役生に地元就職のメリットや楽しさを伝えました。

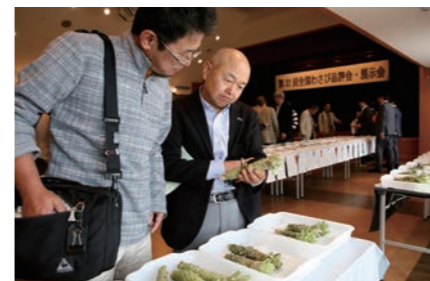


高校生にPRする企業の担当者

10月6日 全国わさび生産者大会・品評会(全国わさび生産者協議会主催)

全国のわさび生産者遠野に集う

同大会はあえりあ遠野と市民センターで開かれ、全国のわさび生産者が集いました。品評会には全国から181点が出品。福地孝市さん(宮守町達曽部)が県知事賞を受賞しました。大会では「わさびの健康効果について」と題し、医学博士の板倉弘重氏が講演。参加者は、ワサビの効能について理解を深めました。



出品されたわさびを味わう参加者

9月30日 ばすぼる食育まつり

体験から学ぶ食の大切さ

市総合食育センターは、食育について理解を深める「ばすぼる食育まつり」を同所で開催し、家族連れなど350人が来場しました。郷土料理の体験コーナーや学校給食の試食のほか、鮭の解体ショー、新鮮野菜の販売会など多彩なイベントを実施。来場者は、楽しみながら食の重要性について学びました。



「やきもち」づくりに挑戦する参加者

10月23日 「一番搾りとれたてホップ生ビール2017」初飲み会

遠野産ホップ使用ビールを堪能

同会があえりあ遠野で開かれ、市内ホップ農家やキリンビール関係者ら300人が参加。遠野産ホップの爽やかな香りとのど越しを味わいました。2017年産は、雑味と渋味を減らすため低温ろ過技術を採用。例年に増して、ホップの香り引き立つ仕上りになっています。参加者はホップの香りを堪能しました。



待ちに待った乾杯の瞬間

10月20日 遠野消防署宮守出張所に高規格救急車配置

新車両で市民の命を守る

遠野消防署宮守出張所の高規格救急車が新車両に更新され、配置式が市総合防災センターで行われました。市民ら50人も車両を見学。医師の指示の下で高度な救命処置を可能にする資機材を備えた新車両に期待を寄せました。導入費用は、車両と資機材を合わせて約3,250万円です。



配置された高規格救急車

10月8日 第12回遠野市継走大会

地域の絆を深めるたすき

市内9地区対抗の継走大会は、旧J A小友支店前から市民センターまでの市内各町を巡る約60*のコースで行われました。チームは、各年代の男女14人で構成。参加した126人は沿道の声援を背に力走し、地域の絆を深めました。
【上位成績】
1位=遠野町(7年連続)、2位=青笹町、3位=宮守町



ゴール目指して一斉スタート

10月1日 J F Aユニクロサッカーキッズin岩手

ゴール目指してシュート!

J F A(日本サッカー協会)などが主催する幼児向けのサッカー教室は遠野運動公園で開かれ、県内各地から500人が参加。子どもたちは果敢にボールを追い、力いっぱいシュートしました。特別ゲストとして、元日本代表の福西崇史さんが子どもたちと一緒にプレー。サッカーの楽しさを伝えました。



果敢にボールを追う子どもたち

10月24日 災害廃棄物処理協定を締結

迅速な災害復旧を約束

市は、県産業廃棄物協会中部支部と災害時における廃棄物の処理等に関する協定を締結。締結式は市役所本庁舎で開かれ、本田市長と小原研支部長は固い握手を交わしました。



協定書を取り交わす本田市長(左)と小原支部長

協定内容は、本市で大規模災害が発生した場合、同支部に加盟する業者が迅速に廃棄物処理を行い、早期の災害復旧を目指すものです。

10月21日 2017世界アルツハイマーデー記念講演会

認知症と向き合うために

認知症に関する講演会があえりあ遠野で開かれ、このの神経内科・脳神経外科クリニック(滝沢市)の紺野敏昭院長が講演。紺野院長は「周囲が認知症患者に寄り添い、認知症になっても住み慣れた地域で生活できる社会づくりが求められている」と指摘しました。講演後は、事例発表会なども行われました。



認知症に寄り添う社会づくりを訴える紺野院長

10月7・8日 第43回遠野市産業まつり

自慢の特産品が一堂に会す



1_特産品を買い求める客でにぎわう会場 2_ミニ上棟式 3_子どもたちが元気にステージ発表 4_昔ながらの花嫁行列が再現されました 5_広報遠野PRブース。たくさんのご来場ありがとうございました

秋の恒例イベント、遠野市産業まつり(同実行委員会主催)は蔵の道ひろばで開かれました。市内外から45の企業・団体が出展。訪れた14,000人は、特産品の販売会や市内の児童・生徒らによるステージ発表、餅つき大会、ミニ上棟式、遠野産ホップを使用したクラフトビールの初飲み会など、盛りだくさんの祭りを楽しみました。
今回は、『広報遠野』のPRブースも出展。読者アンケートなどを行いました。アンケート結果は、今後の誌面づくりに生かします。